携帯ボディパウダー「マシュパフコーワ」の強味・弱味の仮説

❤強味

❦紫外線によるダメージ（特に夏場は汗ばんで保湿がおろそかになっている）に対応する、春夏期にベタつかないスキンケアパウダー。

❦剤型は、パウダーであり、サラサラ感やクール感を訴求したものが多いなか、日焼後のダメージ肌に対応する、サマーローションパウダー（カーマインパウダー）的存在。
市場にない「新しさ」がある。

❦店頭でアピール力が増すよう、選べるラインナップ。
春夏期商品として取扱ってみよう･･･という気にさせる。

＊三次元マスクで展開しているカラー戦略を踏襲したイメージが流通関係者にも伝わる。

❖弱味

❧なりたい肌３タイプ（マット肌、キラ肌、ツヤ肌）と機能２タイプ（制汗、美白）の５ラインナップである。
実はこのラインナップが主訴である「スキンケア機能」を埋没させている

❧現在パウダーＵＶカット剤はＳＰＦ５０+++が主流であり美肌・美白機能に加え、メイクアップ効果の高いものが市場をにぎわせている。コミュニケーション上の競争力が弱い。

❧ボディパウダーのパフ使用は、携帯用のサイズでは面倒感がある。また、パフ使いは１回当りの使用量も少なく、一度買った商品を何年も持越しているケースも多い（当社調べ）。
直接手でボディに塗布できるタイプも一考。

＊粉飛び対応

2012. 7
株式会社ウィズプランニング